

DNP

株主通信

DNP Report Vol.101

(証券コード：7912)

[特集] 次世代のモビリティ社会に向けて



TOP MESSAGE

株主の皆様には、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。また日頃は格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

DNPグループを取り巻く経営環境は、デジタル化の進展により、インターネット広告の市場が拡大し、生活者の属性や好みに合わせたデジタルマーケティングの動きが活発になっています。また、環境に配慮した製品・サービスへの需要が増すとともに、自動運転など次世代のモビリティ社会の実現に向けた新製品開発の動きも活発化し、DNPグループにとって事業拡大のチャンスが広がっています。

DNPグループは、「人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する」という企業理念のもと、事業ビジョンに「P&Iイノベーション」を掲げ、「知とコミュニケーション」「食とヘルスケア」「住まいとモビリティ」「環境とエネルギー」

という成長領域で新しい価値の創出に注力し、中長期にわたって企業価値を拡大させていくことをめざしています。

DNPには、独自に進化させてきた、他社にはない「P&I」(Printing & Information)の強みがあり、それを掛け合わせることで、「DNPならではの価値」を生み出すことができます。それは、人々の期待に応える価値であると同時に、社会の課題を解決する価値であり、生活や社会の基盤を快適で、安全・安心・持続可能なものにしていきます。

今回の「DNP Report」では、重点事業の中から、次世代のモビリティ社会の実現に向けた取り組みをご紹介します。世界市場でトップシェアを獲得しているリチウムイオン電池用バッテリーパウチのほか、電気自動車向けの曲面樹脂ガラス、快適な移動空間を演出するモビリティ用内外装商材、電子鍵等のセキュリティソリューションなど、具体的な成果につながってきています。

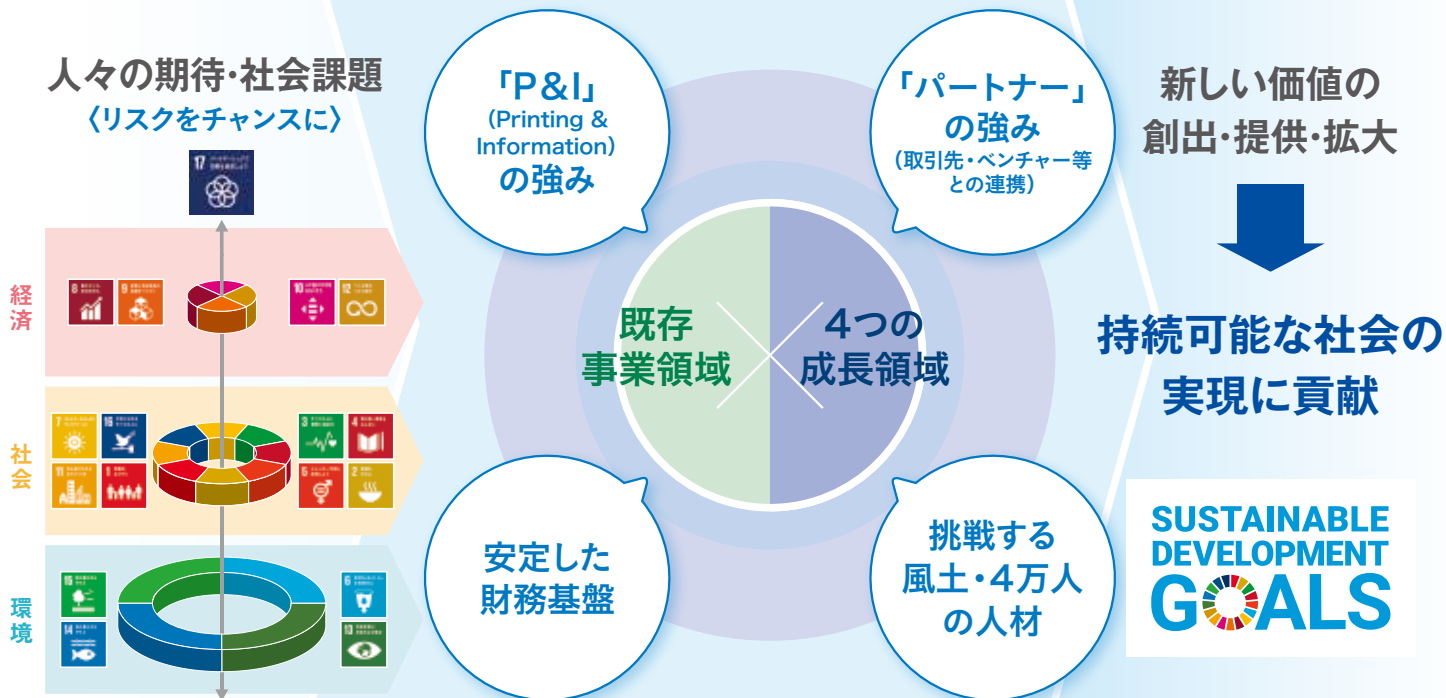
*P4-5の「特集」をご参照ください。

「第三の創業」の実現に向けて

企業理念

DNPグループは、人と社会をつなぎ、新しい価値を提供する。

選択と集中により、強い事業ポートフォリオを構築



当第3四半期も、価値の創出に取り組むとともに、事業の選択と集中による強い事業ポートフォリオの構築を推進しました。また、資産の有効活用と効率化のため、株式など保有資産の見直しを進めるとともに、資本効率の向上と株主還元を目的として、2019年9月12日から3,000万株、600億円を上限とする自己株式取得を行い、2019年12月末までに1,183万株、343億円の取得を実施しました。


当期間の連結業績は、売上高は前年同期比0.1%増の10,471億円、営業利益は14.4%増の413億円、経常利益は15.5%増の479億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は242.4%増の870億円となりました。

DNPは中長期にわたる持続可能な成長に向けて、自社の強みを活かすとともに、多くのパートナーとの連携を深め、変革への挑戦を続けてまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導とお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役社長 よしなり 北島 義斉

4つの成長領域における重点事業



知とコミュニケーション

世界の人々が安全・安心にコミュニケーションの機会を拡大し、知を継承・発展できる未来

honto(文教・図書館)

BPO

メタルマスク

決済サービス

写真メディア・コトづくり

光学フィルム

デジタルマーケティング


コンテンツビジネス

情報銀行

産業用高機能材

環境包材

メディカルヘルス




住まいとモビリティ

世界の人々が暮らし、移動するあらゆる生活空間が快適で安全・安心に保たれている未来

モビリティ用内外装商材
※P4-5参照


オリジナルブランド建装材

**リチウムイオン電池用
バッテリーパウチ**
※P4-5参照



食とヘルスケア

世界の人々の生命への不安が解消され、生涯にわたって、安全・安心で質の高い生活を全うできる未来



環境とエネルギー

地球環境への負荷を減らし、世界の人々と地球が共生できる持続可能な未来

3

[特集]

次世代の モビリティ社会に向けて



電気自動車(EV)の普及や今後の自動運転の進展も見据え、プライバシーの保護、内・外装の意匠性と機能性の向上、快適性を高める製品・サービスの開発など、DNPは自動車メーカーやパートナー企業とともに、これらの課題解決につながる新しい価値の提供に取り組んでいます。

DNPの事業化テーマとターゲット市場

▶ 次世代モビリティ関連事業

6.4兆円 移動弱者のいない
スマートモビリティ社会の実現
*2030年の国内MaaS市場
(矢野経済研究所)

▶ 環境関連事業

4.3兆米ドル 環境負荷低減と持続可能性
拡大に寄与する価値の提供
*エネルギーと原材料の経済システムを通じた
ビジネス価値
(The Business & Sustainable
Development Commission)

▶ シェアリング・エコノミー関連事業

1,386億円 “所有から利用へ”という
社会変化をリード
*2022年度の日本のシェアリング・エコノミー市場
(矢野経済研究所)

EV向けワイヤレス給電用シート型コイル

DNPは、電気自動車(EV)のさらなる普及に向け、長年培ってきたフォトリソグラフィ技術を活用してEV向けワイヤレス給電用のシート型コイルを開発しました。非接触でEVに充電できるため、操作負担を軽減します。

国内外の自動車メーカーやインフラ業界を中心に提供し、さらに、コイル技術を応用・発展させて、走行中給電やドローン向けなどの用途にも展開していきます。



DNPのコイルを用いたワイヤレス給電のイメージ
(路面と車両の両方に実装した薄型コイルシートを通じて無線で充電)

電気自動車向け 曲面樹脂ガラス

湾曲した大型部品にも最適
※車はイメージ



DNPは、ガラスよりも軽く、加工性や断熱性に優れている曲面樹脂ガラスで、自動車の軽量化、空間設計の自由度向上に貢献。建設機械向け等への提供実績をベースに、自動車のリアウィンドウなどに最適な製品を開発しました。また、曲面樹脂ガラスによる車体の一体成形にも取り組み、部品的大幅削減にも取り組んでいます。

セキュリティソリューション

ICカード事業等で培った個人を特定する認証技術や、安全にデータをやり取りする暗号化技術をもとに、スマートフォンアプリで電子鍵(デジタルキー)を提供し、鍵の開閉を行えるサービスのプラットフォームを提供しています。



加飾フィルム・パネル

DNPは、木目や幾何学模様など、多様で高品質なデザインを施した自動車用の加飾フィルムを数多く提供しています。高意匠の製品に、ディスプレイや操作スイッチなどを表示する光学性能を融合。今後の自動運転の進展も見据え、増加する情報表示用の機器によってデザイン性が損なわれないよう、快適な空間を実現する次世代加飾パネルも開発しています。



木目調などのデザインが施された加飾パネルに触れると、カーナビゲーションやカーオーディオなどの画面が浮かび上がり、操作可能となる。

クローズアップ 世界シェアNo.1

リチウムイオン電池用バッテリーパウチ

電気自動車(EV)の根幹とも言えるバッテリーには、現在、リチウムイオン電池が多く使われており、走行性能の向上や省エネに向けて、大容量化・軽量化・薄型化などが進められています。

DNPは、リチウムイオン電池が実用化されて間もない1990年代から、従来の金属缶に代わるフィルムを用いたリチウムイオン電池の外装材(バッテリーパウチ)の技術開発に取り組み、EVに必要な耐熱性・耐振動性・長寿命化を実現。世界の市場で高いシェアを獲得しています。

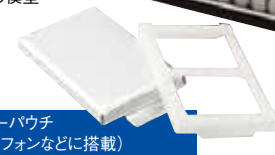
バッテリーモジュール
(電気自動車などに搭載)

※バッテリーパウチを用いた電池セルを複数連結させたモジュールの模型



バッテリーパウチ
(スマートフォンなどに搭載)

リチウムイオン電池用バッテリーパウチは、DNPの保有するコーティング技術・ラミネート技術がベースとなっています。



高い安全性が問われる電気自動車など輸送機械の動力源として実用化が進み、スマートフォン、ウェアラブルデバイス向けの需要も増加。今後さまざまな用途において市場が拡大。

リチウムイオン電池の広がり



リチウムイオン電池材料の開発支援に向け、開発材料の評価を行うLIBTEC

DNPは、2019年にノーベル化学賞を受賞した吉野彰博士が理事長を務める「技術研究組合リチウムイオン電池材料評価研究センター(LIBTEC)」に2010年の設立時から参画し、現在は、次世代電池として期待されている「全固体電池」の開発に取り組んでいます。DNPの保有技術と顧客企業や研究者の技術・ノウハウを掛け合わせることで、新しい価値を創出し、エネルギー産業の発展と環境問題対策に取り組んでいきます。



LIBTEC理事長(旭化成名誉フェロー)
吉野 彰博士



LIBTEC外観

全固体リチウムイオン電池

ピックアップニュース

2019年12月2日発表

額縁のないディスプレイに最適な「高機能ガラスカバー」を開発

近年、カーナビゲーションシステムなどで、額縁のないタイプのディスプレイが登場。画面を最大限に活かしたデザイン性が評価され、特に高級車での採用が広がっており、最表面にはタッチパネル用ガラスカバーが使われるケースが増えています。そのため、事故などの際にガラスカバーが割れてケガをしないように、強化ガラスへのニーズが高まっていますが、現時点では強化ガラスは高価で、コスト負担が大きくなっていました。

こうした課題に対して、今回DNPが開発した「高機能ガラスカバー」は、ガラスのエッジ(辺)とコーナー(4角)までをフィルムでカバーした構造で、事故時のガラスの飛散を防ぐとともに、強化ガラスよりも安価なガラス素



ガラスのエッジとコーナーをフィルムでカバー



衝突試験の結果、割れて飛散した通常のガラス(左)と、ヒビが入っただけのDNPの「高機能ガラスカバー」(右)

材を採用することで、大幅なコスト削減を実現しました。

DNPは、この「高機能ガラスカバー」を国内外の自動車部品メーカーに販売し、車載用カーナビゲーションシステムへの採用を図るとともに、次世代自動車用のディスプレイの前面板などに展開していきます。

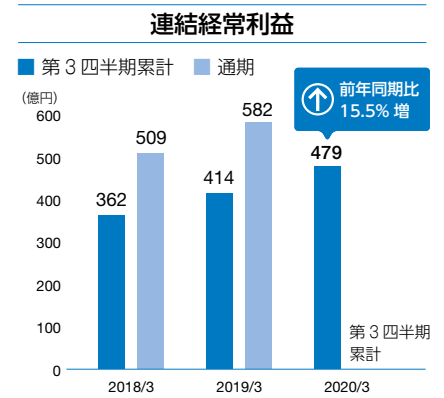
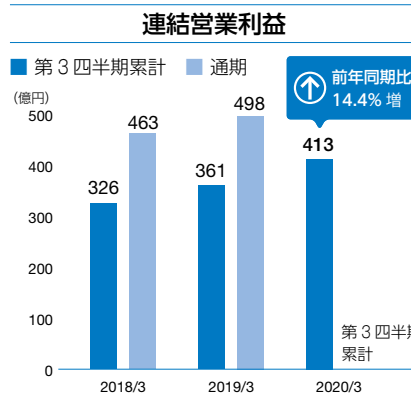
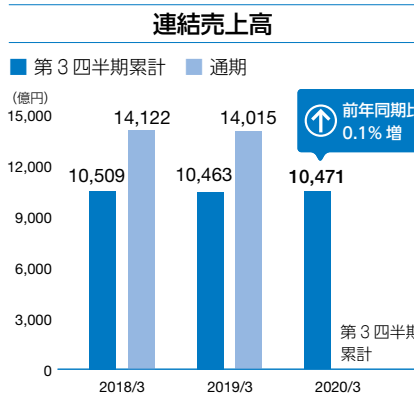
第3四半期決算のご報告 (2019年4月1日から2019年12月31日)

科目	当第3四半期	前第3四半期
売上高	10,471	10,463
営業利益	413	361
経常利益	479	414
親会社株主に帰属する 四半期純利益	870	254

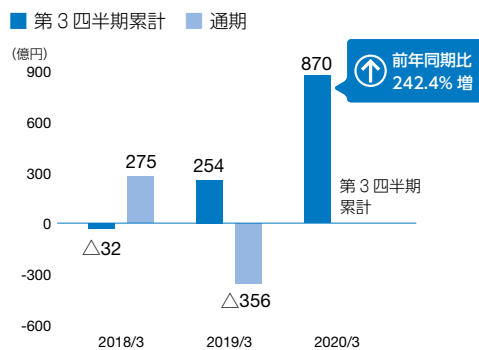
科目	2020年3月期通期
売上高	14,160
営業利益	510
経常利益	585
親会社株主に帰属する 当期純利益	650*

1株当たり当期純利益218円86銭

*2019年5月14日に公表しました2020年3月期通期連結業績予想の、親会社株主に帰属する当期純利益を140億円引き上げ、650億円としました。



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



連結貸借対照表(要約) (単位:億円)

科目	当第3四半期 連結会計期間末	前連結会計年度末
資産	17,792	17,750
流動資産	8,356	7,992
固定資産	9,436	9,757
負債	7,110	7,284
流動負債	4,549	4,676
固定負債	2,560	2,607
純資産	10,682	10,466

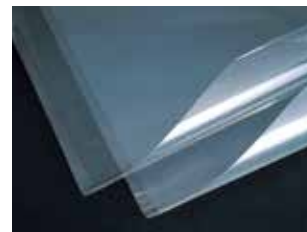
印刷事業



BPOセンター



リチウムイオン電池用バッテリーパウチ



液晶ディスプレイ用反射防止フィルム

清涼飲料事業



清涼飲料

情報コミュニケーション部門

売上高	5,739億円
前年同期比	1.7% 増
営業利益	212億円
前年同期比	25.8% 増

紙媒体や出版関連が減少しましたが、ICカードやBPOなどの重点事業が順調に拡大し、増収・増益となりました。

生活・産業部門

売上高	2,949億円
前年同期比	1.2% 減
営業利益	80億円
前年同期比	30.9% 増

包装や生活空間関連が減少しましたが、リチウムイオン電池用バッテリーパウチが増加し、減収・増益となりました。

エレクトロニクス部門

売上高	1,398億円
前年同期比	4.4% 減
営業利益	263億円
前年同期比	5.6% 減

液晶テレビ向け関連製品が減少したほか、半導体市況悪化の影響を受けて、減収・減益となりました。

清涼飲料部門

売上高	416億円
前年同期比	1.3% 減
営業利益	18億円
前年同期比	15.6% 減

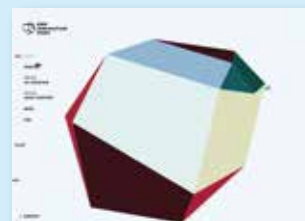
天候不順の影響などにより、「コカ・コーラ」や無糖茶飲料の販売数量が全般的に減少し、減収・減益となりました。

□ ピックアップニュース



生活者視点で、新たな価値創出をめざすオープンイノベーション

DNPは、イノベーションをより迅速に、より効果的に実現していくため、スタートアップやユニコーン企業、多様なパートナーとの共創による新規事業の創出に取り組んでいます。こうした事業を加速させていくため、2019年8月に、関連情報を発信し、パートナーとの共創につなげるためのウェブサイト「DNP INNOVATION PORT」を開発。新規事業とともに創出していくパートナー企業の募集や、新規事業の成長に向けてDNPが提供できる人材や製品・サービス、ノウハウなどの経営資産の情報をタイムリーに掲載しています。



● 「DNP INNOVATION PORT」ウェブサイトURL

トップページ→ <https://www.dnp-innovationport.com/>

2019年12月9日発表

オープンイノベーションで「BEER DROPS」を開発! 新たな体験価値を創出し、若年層にビールの魅力をアピール

DNP、アサヒビール株式会社、FULLLIFE株式会社は、オープンイノベーションによる3社の協業により、若年層にビールの魅力をアピールする“新たな体験価値”として、新感覚のビアカクテル「BEER DROPS」を開発しました。

「BEER DROPS」は、溶けにくい「アイスボール」(商標申請中)入りで、ゆっくり飲んでも冷たさを維持。徐々に味が変化するフルーティな新感覚ビアカクテルです。主に20～30代の女性をターゲットとし、ビールの新たな飲み方を提案していきます。「BEER DROPS」を通じてビールの新たな体験価値を創出し、新市場の創造に挑戦します。



BEER DROPS RED BEER DROPS GREEN

多様な強みを掛け合わせて価値創出につなげる DNPグループのダイバーシティ推進の取り組み



2000年代の初めから、まず女性の活躍推進に取り組んできたDNPは、2018年6月にダイバーシティ推進室を開設し、多様性を活かした価値創出の取り組みを加速させています。現在は、活動の対象を拡げ、障がいを持つ社員、LGBTの社員、外国籍の社員、シニア社員など多様な人材の活躍を支援し、それぞれの強みを掛け合わせていく取り組みにも注力しています。

その一環として、2019年2月1日に、障がいを持った社員一人ひとりの特性に応じて、さまざまな働く場を提供することを目的として、DNPの100%子会社の株式会社DNPビジネスパートナーズを設立。10月25日には、「障害者雇用の促進等に関する法律」に基づく特例子会社*として厚生労働大臣の認定を取得しました。

今後も、社員がいきいきと活躍し、自立できる職場環境を整備するとともに、DNPグループ全体で、人材の多様性を活かした価値の創出を推進していきます。

*特例子会社：障がい者雇用の促進及び安定を図るために特別の配慮をし、一定の要件を満たした上で厚生労働大臣の認定を受けた子会社。



株式会社DNPビジネスパートナーズは、オフィスサービス関連業務やフード・ストアサービス業務を中心にDNPグループ内の横断的な業務を担当しています。

■ DNPのウェブサイトのご案内

当社ウェブサイトでは、最新ニュースやIR情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報を提供しています。



〈トップページ〉



〈IR情報トップページ〉

● DNPのウェブサイトURL

トップページ→ <https://www.dnp.co.jp/>

株主通信「DNP Report」はこちら→ <https://www.dnp.co.jp/ir/library/dnp-report/>

会社情報

商号	大日本印刷株式会社 (Dai Nippon Printing Co., Ltd.)
本社所在地	東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号
ウェブサイト	https://www.dnp.co.jp/
創業	1876年(明治9年)10月9日
設立年月日	1894年(明治27年)1月19日
資本金	1,144億6,476万円
発行済株式総数	324,240,346株 (自己株式 23,594,331株を含む)
株主数	26,138名 (2019年9月30日現在)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会開催時期	6月
上記総会における議決権の基準日	3月31日 その他必要のある場合は、取締役会の決議によりあらかじめ公告して設定します。
剰余金の配当基準日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告により行います。 (当社のウェブサイト https://www.dnp.co.jp/ir/) ただし、事故その他やむを得ない理由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株式事務に関するご案内

1. 住所変更、配当金受取方法の変更等のお問い合わせ先、お手続き窓口

- 一般口座(証券会社の口座)にある株式 株主様が口座を開設されている証券会社の本店
- 特別口座(みずほ信託銀行の口座)にある株式
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
(お手続き窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
※ご転居の際には、住所変更のお手続きを、必ずお願い申し上げます。

※単元未満株式に関するお知らせ

100株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(100株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を導入しております。また、単元未満株式の買増請求につきましても、お取り扱いしております。

2. 未払配当金のお支払窓口(払渡し期間経過後の配当金領収証によるお受け取り)

- (お支払窓口) みずほ信託銀行 本店および全国各支店(トラストラウンジを除く)
みずほ銀行 本店および全国各支店
- (取次所) みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)



DNP
大日本印刷



東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

**DNPは、東京2020オリンピック・パラリンピックの
オフィシャルパートナー(印刷サービス)です。**

●株主通信「DNP Report」に関するお問い合わせ先

大日本印刷株式会社 IR・広報本部 IR室

〒162-8001 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号 TEL: 03-3266-2111(大代表)

※当株主通信は、DNPの事業ビジョンや業績に関する情報の提供を目的としています。記載された意見および予測は、作成時点でのDNPの判断に基づいたもので、これらの情報の完全性を保証するものではありません。 ※記載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。